

こんにちは！ 地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、現在8名の協力隊が移住し、地域活動に関わっています。

地域おこし協力隊に新たな仲間が加わりました！12月18日に一般隊員として着任した三中西 篤(さんなかにし あつし)さんを紹介します。三中西さんは、臼杵の城下町での滞在・交流人口を増やして中心市街地の活性化を図ることを目的に活動をします。やる気満々でフットワークが軽く、気さくな性格の『サンちゃん』にぜひ声をかけてみてください。

自己紹介

はじめまして！地域おこし協力隊に着任しました、三中西 篤(さんなかにし あつし)です。苗字が変わっていて、麻雀みたい(三萬・中・西)とか、京都出身だという「公家っぽい」と言われますが、庶民です(笑)。名前が長いので『サンちゃん』と呼んでください。

大学卒業後、システムエンジニアとして5年弱勤務。その後、おもいきって退職し、2006年1月から2年2ヶ月間、バックパックひとつで世界を放浪していました。訪問した国は59ヶ国。一番良かったところは？と聞かれると悩ましいですが、南米・エクアドルのガラパゴス諸島は固有の動物が多くて楽しかったですね。帰国後は世界放浪の経験を活かして、染料メーカーで約10年間、アジア・米国市場の海外営業をしていました。



臼杵との出会い

臼杵とは何の縁もゆかりもなかった私ですが、地域おこし協力隊に興味を持ち、住むなら暖かいところ、食べ物の美味しいところがいいと思ったのが初めて、その時住んでいた東京でちょうど大分県の移住セミナーがあり、最初に臼杵市のブースに入ったのがきっかけ。まったく知らない土地でしたが、聞くと魅力的な町で、その時に対応してくださった職員さんの印象も良く、その後もいろんな地域の説明も聞きましたが、臼杵を超えるところがありませんでした。2016年夏の移住モニターツアー『うすきおためし暮らし』で初めて臼杵に来て「ここだ！」と思って臼杵市の地域おこし協力隊に応募しました。

活動内容

城下町での空き家や歴史的な公共施設を活用したゲストハウスの運営推進(町なか泊)や、地域交流プログラム作り、モニターツアーを開催するのが主な仕事です。日本の都市部や世界を見てきた私ですが、どの国々、都市よりも、臼杵が一番魅力的で、可能性があると感じています。そんな臼杵の良さを見つけて発信できたらいいなと考えています。でもまずは臼杵での暮らしを楽しみたいと思っていますので、もし見かけましたら、気軽に「サンちゃん！」と声をかけていただけたら嬉しいです。



任命式の様子



平屋3.5Kで庭付きの自宅



人生初のマイカー